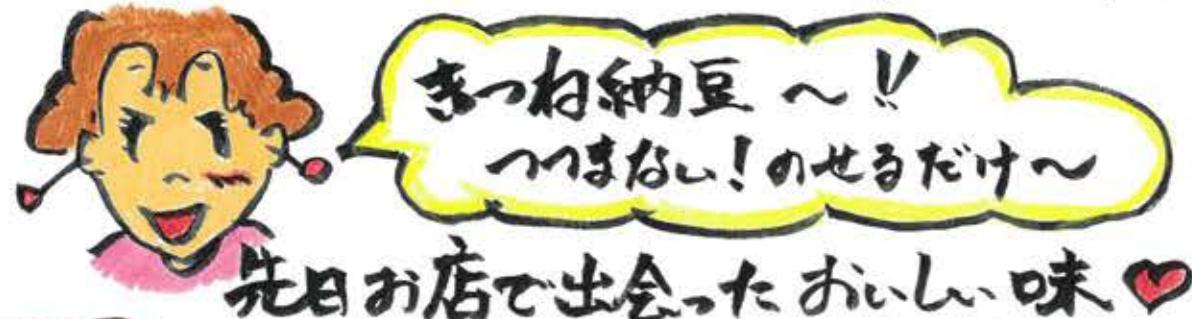


# みやこ新聞

令和5年  
9月号



もう9月暦では秋なのにまだまた暑いですね。



ちよとむさかしかる？頑張ってレンジしてね！

矢印に従って読むと二字熟語になるように□に漢字を入れてください（目標3分）

① 子	② 奇	③ 彫	④ 最
乙	王選	群遅	々書
医	本	印	日
模	調	足	拒
髪	粹昭	訳入	衣根
紙	式		品

- ・まず油揚げは半分に切りトーストで軽く焼く
- ・なーとう、ネギ、外、マヨネーズをきせる
- ・油あげに納豆をのせ好みでゴマやのりをふり、最後にあらびきコショウ!!

いや～、ほんとおいしかった。  
納豆にマヨネーズとコショウ食いますよ～！



菜の關係で納豆がだめな方  
ゴメンナサイ…。

使うシーンを想定して「あなたにとっての必要  
な物」を準備しましょう。

## 非常用持ち出し袋

チェック表  
 衣類  
 飲料  
 水  
 桃  
 懐中電灯  
 ひざかけ  
 口( )  
 口( )

口( )  
口( )



小さなかばんバック  
 財布  
 携帯電話  
 緊(く)き帳  
 身分証



ホームページはこちら！

## 防災の日(9月1日)



9月1日が防災の日とされたのは今から99年前に起きた「関東大震災」が由来です。関東大震災は1923年(大正12年)9月1日、正午の2分前に発生

しました。現在の東京・神奈川を中心とした大規模な被害が生じています。発災時刻がお昼時だったのに加え、北上する台風の影響で強風が吹きこんだことが重なり、大規模な延焼火災が発生し、10万5000人あまりという最大の人的被害となったのです。火災による焼失のほか、揺れによる倒壊、液状化による地盤沈下、土砂災害も多く、鉄道事故による大规模な死者もありました。沿岸部では高さ10m以上の津波も発生しました。

関東大震災から1世紀近くになりますが、日本列島はその後も震度7弱以上の地震が平均すると5年に1度は大地震に見舞われているといいます。9月1日を「防災の日」、前後の1週間(8月30日~9月5日まで)を「防災週間」として全国で啓発イベントなどが行われています。

いざというときの連絡は「災害時伝言サービス」で家族や身近な人と離れたときに被災した場合の連絡手段で、防災週間は実際に登録して伝言の練習が体験できます。「119」(いない)へ電話し、その音声は全国どこからでも確認、

できるのです。

- ・「ローリングストック」方式で効果的に3日~7日間の備蓄し、まとめて管理しましょう。
- ・消防訓練や避難訓練に参加して、いざという時のために準備しておきましょう。

1夜 2抜 3刻 4初	5型 6和 7浴 8絶
-------------	-------------



## 敬老の日

「敬老の日」とは、敬老の日は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う」ことを目的として昭和23年(1948)に祝日法として制定されました。

昭和22年(1947)に兵庫県多可郡野間谷村の村長が「老人を大切にし、お年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう」と農閑期にあたり気候も良い9月15日を「おしょりの日」に提唱したのが敬老の日のはじまりです。

「敬老の日」が9月15日となったのは、2つの説があるとされています

- 1つは、聖徳太子が悲田院を建立した日が9月15日だからといふ説と、もう一つは、元正天皇が717年9月15日に養老の滝へ御幸し、全国の高齢者に贈り物をした日、にちなんで制定されたといふ説です。いずれにしても、お年寄りを大切に敬う心が「敬老の日」の起源ですね。

